

1 アウトドアガイドを取り巻く環境

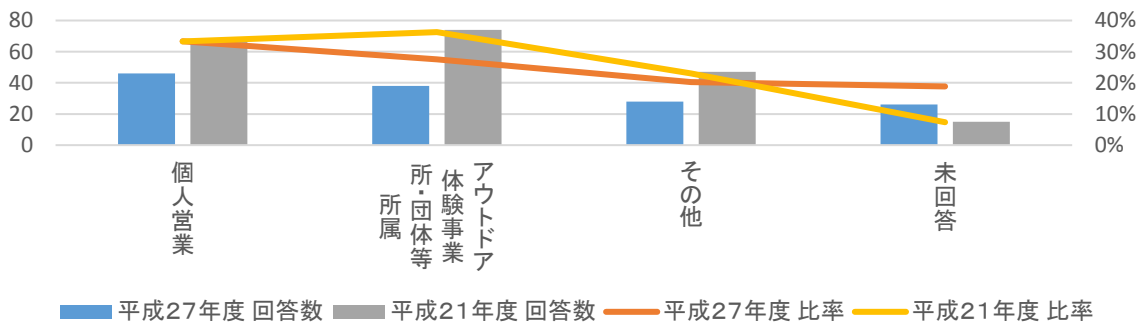
アウトドア体験ガイド業だけで生計を立てることは依然として厳しい状況

(1) 就業・雇用形態

① アウトドア体験ガイド業の就業形態

個人営業が3割超

区分	平成27年度		平成21年度	
	回答数	比率	回答数	比率
個人営業	46	33%	68	33%
アウトドア体験事業所・団体等所属	38	28%	74	36%
その他	28	20%	47	23%
未回答	26	19%	15	7%
計	138	100%	204	100%



② 個人営業のアウトドアガイド

(i) 個人営業のアウトドアガイドの営業形態

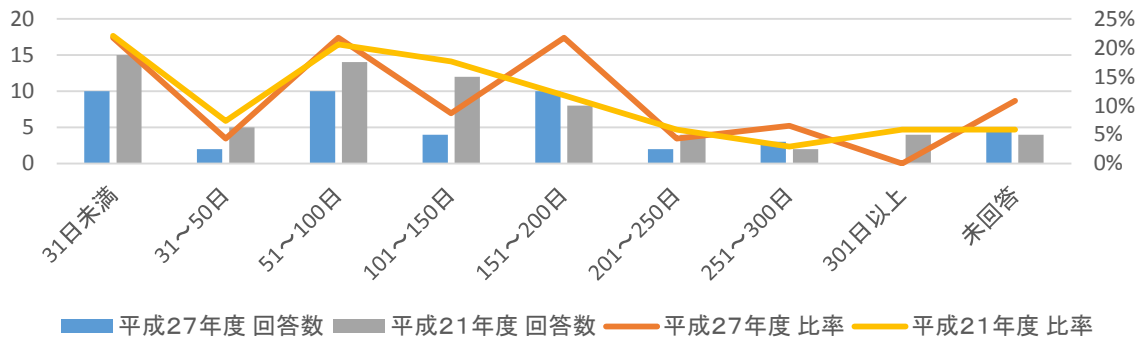
兼業の比率が6割超

区分	平成27年度		平成21年度	
	回答数	比率	回答数	比率
専業	18	39%	23	34%
兼業(アウトドア体験ガイド業が主事業)	11	24%	22	32%
兼業(アウトドア体験ガイド業は主事業ではない)	17	37%	21	31%
未回答	0	0%	2	3%
計	46	100%	68	100%

(ii) 個人営業のアウトドア体験ガイド業における年間の稼働日数

31日未満の比率が高く、200日以下が約8割

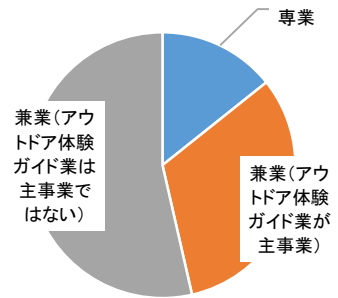
区分	平成27年度		平成21年度	
	回答数	比率	回答数	比率
31日未満	10	22%	15	22%
31~50日	2	4%	5	7%
51~100日	10	22%	14	21%
101~150日	4	9%	12	18%
151~200日	10	22%	8	12%
201~250日	2	4%	4	6%
251~300日	3	7%	2	3%
301日以上	0	0%	4	6%
未回答	5	11%	4	6%
計	46	100%	68	100%



(iii) 今後目指している営業形態

兼業(アウトドア体験ガイド業は主事業ではない)が5割超

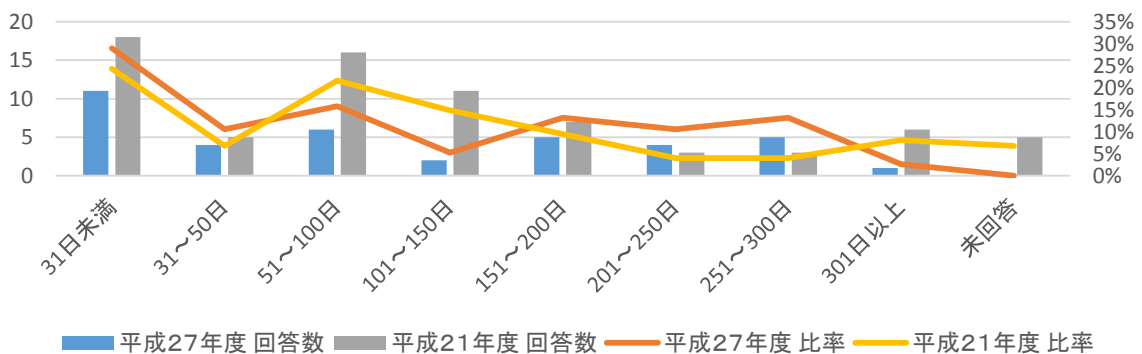
区分	回答数	比率
専業	4	14%
兼業(アウトドア体験ガイド業が主事業)	9	32%
兼業(アウトドア体験ガイド業は主事業ではない)	15	54%
未回答	0	0%
計	28	100%



③ アウトドア体験事業所・団体等所属のアウトドアガイド
アウトドア体験ガイド業における年間の稼働日数

31日未満の比率が最も高く、200日以下が7割超

区分	平成27年度		平成21年度	
	回答数	比率	回答数	比率
31日未満	11	29%	18	24%
31~50日	4	11%	5	7%
51~100日	6	16%	16	22%
101~150日	2	5%	11	15%
151~200日	5	13%	7	9%
201~250日	4	11%	3	4%
251~300日	5	13%	3	4%
301日以上	1	3%	6	8%
未回答	0	0%	5	7%
計	38	100%	74	100%



就業・雇用形態の現状

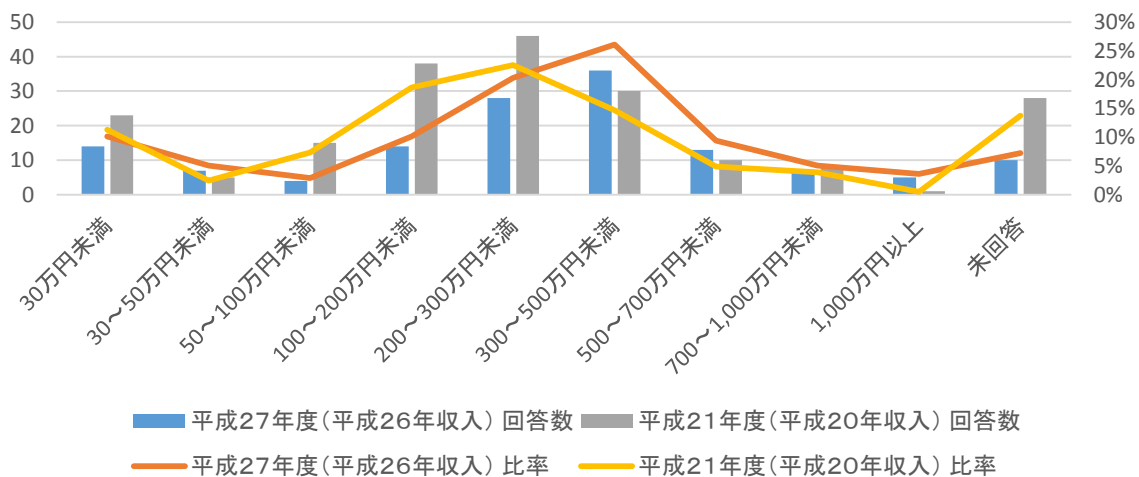
アウトドア体験ガイド業における年間の稼働日数は、個人営業、アウトドア体験事業所・団体等所属ともに「31日未満」が高い比率を占め、「200日以下」の比率も個人営業で約8割、アウトドア体験事業所・団体等所属も7割超となっており、アウトドアガイドだけで生計を立てることは依然として厳しい状況と言える。また、個人営業のアウトドアガイドについては、現状で兼業が6割超となっており、今後目指す営業形態(H27初調査)も、「兼業(アウトドア体験ガイド業は主事業ではない)」が5割超となっている。個人営業のアウトドアガイドをされている半数以上の方が「専業」よりも、別の主事業を行いながら副業としてアウトドア体験ガイド業を行う方が現実的だと考えているようである。

(2) 収入

① 平成26年又は平成20年における年収

年収300万円未満の比率が約5割

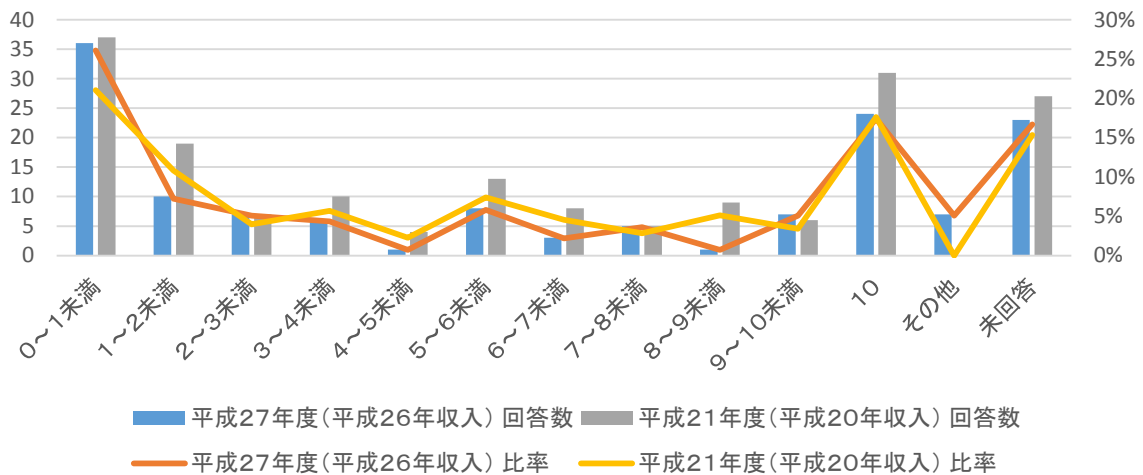
区分	平成27年度(平成26年收入)		平成21年度(平成20年收入)	
	回答数	比率	回答数	比率
30万円未満	14	10%	23	11%
30～50万円未満	7	5%	5	2%
50～100万円未満	4	3%	15	7%
100～200万円未満	14	10%	38	19%
200～300万円未満	28	20%	46	23%
300～500万円未満	36	26%	30	15%
500～700万円未満	13	9%	10	5%
700～1,000万円未満	7	5%	8	4%
1,000万円以上	5	4%	1	0%
未回答	10	7%	28	14%
計	138	100%	204	100%



② ①のうちアウトドア体験ガイド業における収入の割合

0～1未満及び10割の比率が高い

区分	平成27年度(平成26年収入)		平成21年度(平成20年収入)	
	回答数	比率	回答数	比率
0～1未満	36	26%	37	21%
1～2未満	10	7%	19	11%
2～3未満	7	5%	7	4%
3～4未満	6	4%	10	6%
4～5未満	1	1%	4	2%
5～6未満	8	6%	13	7%
6～7未満	3	2%	8	5%
7～8未満	5	4%	5	3%
8～9未満	1	1%	9	5%
9～10未満	7	5%	6	3%
10	24	17%	31	18%
その他	7	5%	0	0%
未回答	23	17%	27	15%
計	138	100%	176	100%



③ アウトドア体験事業所・団体等所属のアウトドアガイドが所属している会社又は団体に望むこと

給与の向上を望む声が多い

区分	回答数	比率
給与の向上	27	12%
経営的に安定している	22	10%
自分が成長できる	14	6%
自分の能力が発揮できる	12	5%
いろいろなことにチャレンジできる	11	5%
もっと従業員を増やして欲しい	9	4%
人間関係が良い	9	4%
休日が増える	8	4%
地位が上がること	7	3%
柔軟な勤務時間	4	2%
会社や団体の施設や休憩室などが快適	3	1%
福利厚生	3	1%
評価・処遇が公平である	3	1%
残業がない	1	0%
その他	12	5%
未回答	74	34%
計	219	100%

収入の現状

H20とH26における年収を比較すると、年収300万円未満の比率は減少しているものの、依然として約5割を占めており、年収の水準はいまだ低い傾向にある。また、年収に占めるアウトドア体験ガイド業の年収の割合は、H20、H26ともに、「0～1未満」に次いで「10割」が多く、生計を立てられるアウトドアガイドと生計を立てられないアウトドアガイドの格差がかなりあることが分かる。

アウトドア体験事業所・団体等所属のアウトドアガイドが、所属している会社又は団体に望むこと(H27初調査)の上位が「給与の向上」、「経営の安定」ということから、アウトドアガイドとして生計が立てられるよう収入の底上げが必要である。

2 北海道アウトドア資格制度

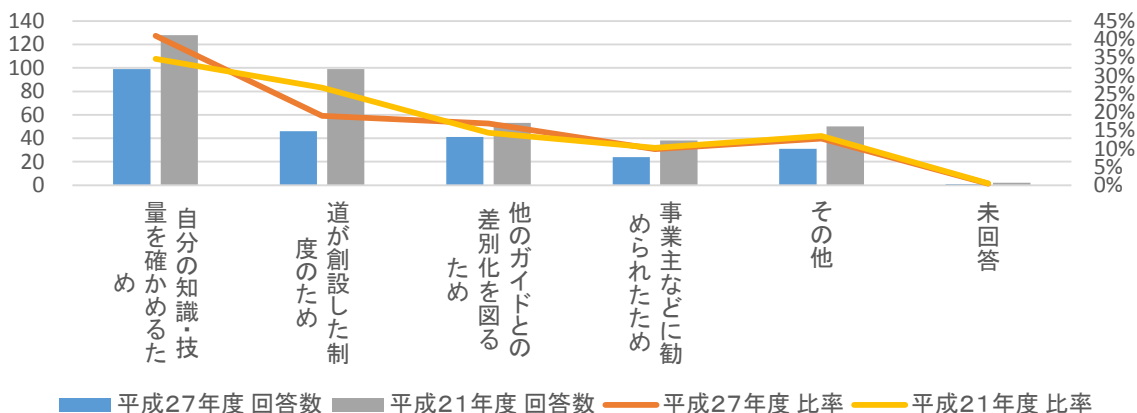
資格の取得のメリットが明確化されていない

(1) 資格の取得動機と変化

① 北海道アウトドアガイド資格の取得動機

「道が創設した制度のため」の比率が減少

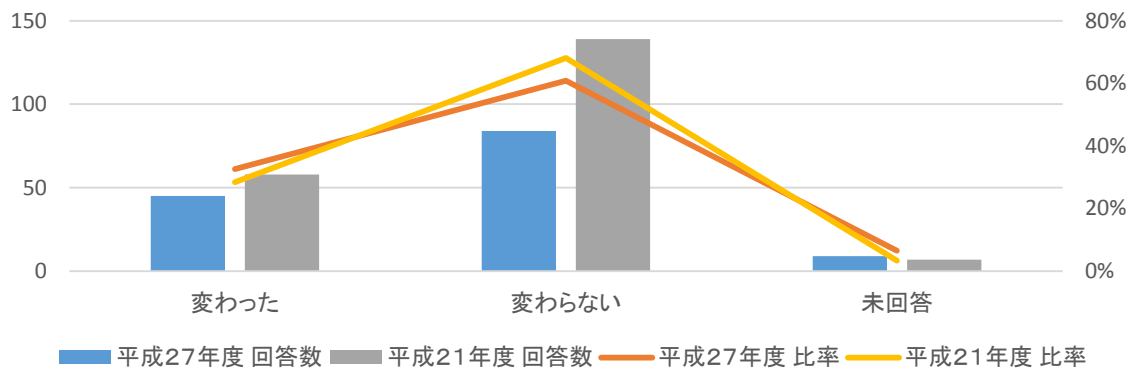
区分	平成27年度		平成21年度	
	回答数	比率	回答数	比率
自分の知識・技量を確かめるため	99	41%	128	35%
道が創設した制度のため	46	19%	99	27%
他のガイドとの差別化を図るため	41	17%	53	14%
事業主などに勧められたため	24	10%	38	10%
その他	31	13%	50	14%
未回答	1	0%	2	1%
計	242	100%	370	100%



② 北海道アウトドアガイド資格の取得後の変化

「変わらない」の比率が6割超

区分	平成27年度		平成21年度	
	回答数	比率	回答数	比率
変わった	45	33%	58	28%
変わらない	84	61%	139	68%
未回答	9	7%	7	3%
計	138	1	204	1



(2) アウトドアガイドが求めているもの

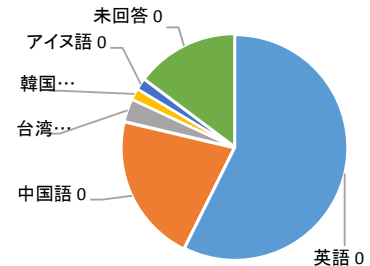
① アウトドアガイドとして身につけたい知識・スキル

リスクマネジメントなどの安全に対する知識、ガイド術、外国語などの比率が高い

区 分	回答数	比率
自分が従事している分野の知識・技能をさらに深めたい	107	17%
安全に対する知識・技能	68	11%
リスクマネジメント	65	11%
ガイド術(話し方、楽しませ方等)	63	10%
救命救急に関する知識・技能	60	10%
外国語	51	8%
先進的なアウトドアガイドの方法	49	8%
接客・ホスピタリティ	46	7%
周辺地域の観光資源の習得	39	6%
経営・管理マネジメント	39	6%
自分が従事していないアウトドア分野の知識・技能を身につけたい	19	3%
その他	6	1%
未回答	6	1%
計	618	100%

【外国語の内訳】

言 語	回答数	比率
英語	35	57%
中国語	13	21%
台湾語	2	3%
韓国語	1	2%
アイヌ語	1	2%
未回答	9	15%
計	61	100%



② アウトドアガイドが希望する研修制度(社内、社外)

リスクマネジメントや接客、外国語の研修を求める声が多い

(社内)

内 訳	回答数
リスクマネジメント	6
接客スキル	6
救急法、救急救命	3
英会話、外国語	3
特になし	3

(社外)

内 訳	回答数
外国人客への対応	5
リスクマネジメント	4
アイヌの文化・歴史	3
情報交換・ガイド間の交流	3
接客・ホスピタリティ	3

アウトドアガイドが求めているもの

北海道アウトドア資格取得のメリットを享受するためにも、アウトドアガイドが求めている「リスクマネジメント」、「救命救急」などの安全・安心を確保するための研修、「ガイド術」や「接客」、「外国語」などのお客様へのより良い対応を目指すための研修などの開催を検討する必要がある。